

UDC 665.75::621.515:665.75::621.635:621,892.098

K 2213

JIS

タービン油

Ⓜ JIS K 2213-1983

昭和 58 年 3 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

資源エネルギー部会 潤滑油専門委員会 構成表 (昭和55年3月1日改正のとき)

	氏名	所属
(委員長)	岡部 平八郎	東京工業大学工学部
	根来 一夫	社団法人石油学会
	加藤 昭六	資源エネルギー庁石油部
	田村 忠男	工業技術院標準部
	曾田 長一郎	工業技術院機械技術研究所
	坂部 孜	工業技術院公害資源研究所
	田中 穂積	新日本製鐵株式会社設備技術センター
	蜂須賀 照憲	株式会社東京計器
	磯田 正路	日産自動車株式会社中央研究所
	山近 純一郎	日本鋼管株式会社重工エンジニアリング事業部
	月岡 淑郎	株式会社日立製作所日立研究所
	黒沢 博	財団法人電力中央研究所環境化学部
	鈴木 八十吉	日本国有鉄道鉄道技術研究所
	青木 英雄	防衛庁潤滑油研究室
	山下 定利	出光興産株式会社潤滑油部
	岩田 治	日本石油株式会社商品技術部
	清水 信一	大協石油株式会社環境安全管理室
	九鬼 利郎	丸善石油株式会社潤滑油一部
	野上 周二	全国石油工業協同組合
	藤沼 茂	石油連盟
	矢野 恒夫	丸善石油株式会社潤滑油一部
(関係者)	奥村 和光	石油連盟
(事務局)	黒河 亀千代	工業技術院標準部材料規格課
	小沢 祥浩	工業技術院標準部材料規格課
(事務局)	時山 聖司	工業技術院標準部材料規格課 (昭和 58 年 3 月 1 日改正のとき)
	宮崎 正治	工業技術院標準部材料規格課 (昭和 58 年 3 月 1 日改正のとき)

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 31. 12. 1 改正：昭和 58. 3. 1

官報公示：昭和 58. 4. 7

原案作成協力者：石油連盟

審議部会：日本工業標準調査会 資源エネルギー部会 (部会長 松本 敬信)

審議専門委員会：潤滑油専門委員会 (委員長 岡部 平八郎) (昭和55年3月1日改正のとき)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課 (〒100東京都千代田区霞が関1丁目3-1) へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。



タービン油

K 2213-1983

Turbine Oils

1. 適用範囲 この規格は、蒸気タービン、水力タービン、ターボ形送風機、ターボ形圧縮機などに用いるタービン油について規定する。

備考 この規格の中で { } を付けて示してある単位は、国際単位系 (SI) によるものであって、参考として併記したものである。

2. 種類 タービン油の種類は、添加剤の有無及び JIS K 2001 (工業用潤滑油粘度分類) に規定する粘度分類によって、1種3種類、2種3種類に分け、表1のとおりとする。

表 1

種	類
1種(無添加)	ISO VG 32
	ISO VG 46
	ISO VG 68
2種(添加)	ISO VG 32
	ISO VG 46
	ISO VG 68

3. 品質 タービン油は、水及び沈殿物を含まない精製鉱油又はそれに添加剤を加えたもので、4. 試験方法で試験を行ったとき、1種は表2、2種は表3の規定に適合しなければならない。

4. 試験方法

4.1 試料採取方法 JIS K 2251 (原油及び石油製品試料採取方法) による。

-
- 引用規格: JIS K 2001 工業用潤滑油粘度分類
JIS K 2251 原油及び石油製品試料採取方法
JIS K 2265 原油及び石油製品引火点試験方法
JIS K 2269 原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法
JIS K 2283 原油及び石油製品の動粘度試験方法並びに石油製品粘度指数算出方法
JIS K 2501 石油製品中和価試験方法
JIS K 2510 潤滑油さび止め性能試験方法
JIS K 2513 石油製品銅板腐食試験方法
JIS K 2514 潤滑油酸化安定度試験方法
JIS K 2520 潤滑油抗乳化性試験方法
JIS K 2540 潤滑油熱安定度試験方法